

Ⅲ 社 会 教 育

1	令和6年度名寄市社会教育推進計画	-----	4 2
2	生涯学習課・名寄市公民館の事業計画	---	5 0
3	風連生涯学習担当・ 名寄市風連公民館の事業計画	-----	5 6
4	名寄市智恵文公民館の事業計画	-----	5 9
5	名寄市児童センター	-----	6 0
6	名寄市青少年センター	-----	6 4
7	名寄市教育相談センター	-----	6 5
8	名寄市北国博物館	-----	6 6
9	市立名寄図書館	-----	7 1
1 0	なよろ市立天文台	-----	7 3
1 1	学校体育施設開放事業利用状況	-----	7 5

1 令和6年度名寄市社会教育推進計画

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが変わり、社会教育では、密集や密接により実施が制限されていた事業が動き出しました。

令和6年度の名寄市の社会教育・生涯学習は、つながることをキーワードとして、社会教育施設が連携・協働し、様々な学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供し、市民一人一人がウェルビーイング（※）を感じられるよう、4つの重点的な取組を進めてまいります。

※用語解説

【ウェルビーイング】

身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。

短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

1 生涯学習社会の形成

市民が生涯にわたって主体的に学び、心豊かな人生を送ることができるよう、社会教育拠点施設の整備や指導者の育成、学習活動の推進など、生涯学習環境の充実に努めます。

【生涯学習活動の推進と学習への支援】

- (1) 子どもから高齢者まで、すべての市民が生涯にわたって主体的に学習し、充実した人生を送ることができるよう、生涯学習推進体制の整備に努め、主体的な生涯学習活動を支援します。
- (2) 市民への生涯学習機会の提供を推進するにあたり、社会教育施設間の連携や情報共有を図り、施設が相互協力できる体制づくりに努めます。
- (3) 市民の生涯学習活動の成果を地域課題の解決やまちづくり等につなげていくため社会教育主事の配置や、市民の生涯学習に関する相談体制の充実の

ため生涯学習推進アドバイザーの配置を継続します。

- (4) ICTを活用した、講座や講師に関する情報の発信や、オンラインでの講座の実施を進め、多様な交流やつながりの機会を広げます。
- (5) 公民館活動については、講師や指導者などの人材を確保し情報提供体制の充実を図るとともに、社会教育施設や関係部局と連携し、市民講座などを開催します。また、特色ある生涯学習活動を推進し、分館活動を含めた多様で身近な学習機会の提供に努めます。
- (6) 名寄市公民館では、体験型の講座「エンレイカレッジ」の実施により、名寄の魅力や歴史に触れるとともに、オンラインでの学習機会の提供に努めます。
- (7) 智恵文公民館では、義務教育学校や地区の各種団体との連携のもと、農村地区という地域の歴史や自然などの特性を踏まえ、世代間で交流しながら地域資源を継承する生涯学習活動の推進に努めます。
- (8) 風連公民館では、ふうれん地域交流センターを拠点とし各種団体と連携・協働した事業を実施するとともに、陶芸センターを活用した公民館講座の開催や地域の伝統芸能活動など生涯学習活動の推進に努めます。

令和6年度の主な事業

- 生涯学習フェスティバル 2024
- ジャックの豆事業助成金
- 高齢者学級運営事業
- 公民館運営事業

【社会教育施設の機能強化】

- (1) 市民がいつでもどこでも学習することができる生涯学習環境の改善・充実を図るため、社会教育施設・設備の維持管理及び計画的な整備に努めます。
- (2) 図書館サービスについては、市民が求める情報探しを支援するレファレンス機能を高めるために職員の研修に努めるとともに、大学図書館・小中学校図書室との連携を図ります。
- (3) 名寄図書館の改築に向けて、市民の学びや憩いの場として集えるような機能の充実、誰もが安全で快適に利用できる図書館をめざして検討を進めます。

- (4) 北国博物館については、地域の歴史・自然・文化を伝える施設機能の向上と何度でも来館したくなるような魅力ある施設運営に努めるとともに、デジタル技術を活用した情報発信について積極的に取り組み、地域の魅力を広く伝えるためデジタルミュージアムについて検討します。
- (5) 博物館施設の収蔵機能を活用し、名寄の歴史を伝承していくため、資料の保存と普及に努めます。
- (6) 名寄図書館と北国博物館が連携し、郷土の歴史や文化の伝承に資する資料の収集と保存に努めます。
- (7) 天文台については、多様な観望会やプラネタリウム、映像配信やデジタルを活用した企画を一層充実させ、市民に親しみある天文普及に努めます。
- (8) 天文サークルなど、天文台の協力団体と連携を図り、天文普及活動や情報発信に取り組みます。
- (9) 移動天文台車を利用して近隣地域や東京都杉並区と交流を図るほか、北海道大学や国立天文台・石垣島天文台、他天文台などと連携し、研究観測などの事業を推進します。

令和6年度の主な事業

- 読み聞かせなどを通じた読書活動推進事業
- 地域の歴史・自然・文化普及活動推進事業
- 観望会・プラネタリウム・映像配信による天文普及事業

【地域連携・協働による社会教育の推進】

- (1) 地域の人づくり、つながりづくり、地域づくりの一端を担うため、地域の各種団体と連携を工夫して、社会教育活動を推進します。
- (2) 学校を核とした地域づくりを進めるため、地域学校協働活動を推進します。
- (3) 「地域とともにある学校づくり」の充実が図られるよう、地域学校協働活動等人材バンクの登録と活用の推進に努めます。
- (4) 文化部活動の地域移行を見据え、地域と連携し、環境の整備に努めます。

令和6年度の主な事業

- 地域学校協働活動
- 地域学校協働活動等人材バンク

2 家庭教育の推進

子どもたちの健全育成の基盤である家庭における教育力の向上を図り、家庭の孤立を防ぐため、幼稚園と連携した家庭教育学級の開設や講座の開催など、親子や親同士のコミュニケーションを深める機会の提供に努めます。また、子育てに配慮した環境づくりなどについて企業への啓発に努めます。

【家庭と地域の教育力の向上】

- (1) 家庭における教育力を向上させるため、名寄市健康福祉部等の関係機関とも連携し、学習機会の提供や、子育て中の家庭同士の交流を図ることができるよう、家庭教育支援事業の充実に努めます。
- (2) すべての保護者が家庭教育や子育てに関する学習・相談機会を得られるよう、情報提供や相談体制の整備に努めます。
- (3) 小中学校・幼稚園・認定こども園を単位とした家庭教育学習の充実に図るとともに、青少年育成関係団体など地域と連携し、親子ふれあい事業や社会体験の充実に努めます。
- (4) 地域全体で家庭や子どもを支え見守る環境をつくるため、地域の大人が積極的に子どもたちと関わることや、企業が参観日への保護者の参加促進に協力するなど、市民への啓発や家庭教育サポート企業の拡大に努めます。

令和6年度の主な事業

- 家庭教育推進事業

3 青少年の健全育成

未来を担う青少年が、心身ともに健やかに成長し、社会の一員としての人間性や社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動や交流活動、ボランティア活動を推進するとともに、安全で健やかな成長に向けた体制づくりに努めます。

【青少年健全育成の推進】

- (1) 未来をつくる青少年が心の豊かさ、創造性や社会性などを養い、時代の変化に的確に対応できる人間として育つよう、教育環境の整備に努めます。
- (2) ボランティアリーダー活動など高校生や青少年のリーダーを育成するため、子ども会育成連合会など関連組織と連携し、指導者の育成に努めるとともにリーダー育成事業に取り組みます。
- (3) 単位子ども会の活動が困難になっている地域の子どもが参加交流できる事業や自然を活かした体験活動を推進します。教育委員会と子ども会育成連合会との共催による事業を実施し、学校外での活動の推進に努めます。
- (4) 地域の状況に応じながら子どもたちに地域での活動への参加を促すとともに、関係団体と連携する中、スポーツ・文化・レクリエーション事業への参加機会の拡充に努めます。
- (5) 生活環境の異なる大都市の子どもたちとの体験交流や異文化交流などの相互交流を実施し、豊かな感性と新たな友達づくりや地域間交流の醸成に努めます。
- (6) 二十歳を祝う会については、二十歳を対象とし、実行委員会を中心に企画運営を行い、趣向を凝らした内容で開催します。
- (7) 地域や各学校、関係機関等と連携を図り、青少年センターを中心に青少年の問題行動の未然防止や安全確保に努めます。
- (8) 不審者対策や犯罪のない地域づくりのために、市内の巡視活動を行い、子どもたちが安全安心に学び遊べる環境づくりに努めます。
- (9) 社会が多様化する中で、不登校などの様々な悩みの受け皿が必要とされていることから、教育相談センターを中心に学校や家庭、関係機関との情報交換、情報収集、連携を強化し、教育相談体制の充実に努めます。

- (10) 社会的な自立や学校復帰に向けて、適応指導教室等で不登校児童生徒の心情や悩みを受け止め、生活支援や学習支援を行います。

令和6年度の主な事業

- へっちやLAND2024
- 都会っ子との体験交流事業
- 青少年問題等対策事業
- わくわく！体験交流会
- 令和7年二十歳を祝う会
- 不登校児童生徒相談事業

【子育て支援の推進】

- (1) 児童センター及び風連児童会館では、自由来館型の施設として、遊びやスポーツ、各種行事や体験活動を通して児童の健全育成を図ります。
- (2) 放課後児童クラブでは、放課後における児童の安全安心な居場所を提供し、保護者の仕事と子育ての両立の支援を行います。また、民間の学童保育所に対しては、環境整備や運営に対し、必要な支援を行います。
- (3) 放課後子ども教室では、小学4年生から小学6年生までを対象に勉強やスポーツ文化活動、地域との交流活動などを通して、児童の自ら学ぶ姿勢を高め、学習習慣の定着を図ります。
- (4) 児童センターの老朽化に伴い、施設の整備について検討します。

令和6年度の主な事業

- 放課後児童クラブ事業
- 放課後子ども教室事業

4 地域文化の継承と創造

市民が想像力にあふれ、豊かな人生を送ることができるよう、文化施設の整備や指導者の育成など文化振興のための基盤整備を進め、拠点施設を中心に、文化に触れる機会の充実を図り、文化の創造と団体の育成に努めます。

【文化芸術の振興】

- (1) 名寄市文化芸術振興条例並びに名寄市文化芸術の振興に関する基本方針に基づき、文化芸術の振興と継承を図り、市民個人や団体による主体的、創造的な文化活動を推進します。
- (2) 地域の文化芸術活動の担い手である団体・グループ等の活動に対する支援を行うとともに、文化団体等の育成に努めます。
- (3) 市民文化センター大ホールE N - R A Y及びふうれん地域交流センターを核とした鑑賞事業を実施し、文化芸術活動の活性化を図ります。
- (4) 市民文化センター及びふうれん地域交流センターが市民のコミュニティ醸成の場としてより親しまれる環境となるよう努めます。
- (5) 学校と連携したアウトリーチ(※)などを推進し、多くの市民が文化芸術に触れられる機会の提供に努めます。
- (6) 優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、文化芸術鑑賞ツアーの一層の充実に努めます。
- (7) 文化に親しむ講座の開設や新しい文化芸術サークルの開設の奨励など、文化芸術活動の活性化や発表の場の一層の充実に努めます。
- (8) 市民が日頃の文化活動の成果を発表する、文化祭を実施します。

令和6年度の主な事業

- | | |
|---------------|------------|
| ○文化芸術アドバイザー設置 | ○文化芸術振興助成金 |
| ○市民文化祭、風連文化祭 | ○市民盆踊り大会 |

※用語解説

【アウトリーチ】

公的機関、公共的文化施設などが行う、地域への出張サービス

【歴史や文化財の継承】

- (1) 地域に関わる歴史、文化に関する資料や文献、文書の収集と整理保存を行い、収集した資料を活用した展示会や講座の開催などにより、地域を知る機会を提供し普及啓発に努めます。

- (2) 地域の宝として有形、無形の文化財や史跡、史料を保存するとともに、ブックレットなどによる啓発や指定文化財の保護活動、伝承活動の支援に努めます。
- (3) 郷土の発展に大きく貢献し、全国的に活躍した名寄ゆかりの人物について、その功績や生き方を後世に伝えていくため、社会教育施設で連携を図りながら、研究と普及活動に努めます。

令和6年度の主な事業

- 各種講演会・講座・展示会運営事業
- 文化財保護事業

2 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆生涯学習活動の推進と学習への支援

1 幅広い分野にわたる学習機会の提供・課題解決へ向けた学習活動の促進

- (1) 情報提供と相談体制の整備
広報、新聞、ラジオ又はインターネットなど、あらゆる媒体を活用し情報提供を行います。生涯学習情報の提供と相談は随時受付をします。
- (2) 市民講座の開催
趣味・教養・文化・生活などに係る多種多様な講座や、地域づくりやまちづくりを意識した講座を開設し、市民のまなびを支えます。また、講座は講義だけでなく、施設見学や体験、軽スポーツ又はグループワークなどを取り入れて開催します。
- (3) ジャックの豆事業（自主的学習グループ・サークル活動促進事業）
市民の自主的な学習グループ・サークル活動を組織化・活性化させるため、必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進します。

2 「名寄ピヤシリ大学」の開設

市民を対象に、主体的につどい・学び・つながることにより、変化する時代においても持続可能な地域社会の創り手となり、生涯にわたって活躍することができるよう講座、社会見学、奉仕活動、体育祭、遠足、大学祭、クラブ活動及び自治会活動など幅広い学習機会を提供します。

- (1) 開設期間 4月～3月（毎月第2・4火曜日を原則として計20回開設）
- (2) 公開講座の開設
ピヤシリ大学生、大学院生に加えて広く市民の参加を募るとともに、「道民カレッジ」（北海道教育委員会主催）の連携講座として年3回開講します。
- (3) 指導者養成・交流活動
市内小学生との交流授業を実施します。

3 学んだ成果を生かせる場の提供

- (1) 講座やサークル活動で学んだ成果を活かす「生涯学習リーダーバンク」の市民への周知と、登録・活用の推進を図ります。（令和6年6月現在登録者数：31名）
- (2) 生涯学習フェスティバルの開催
生涯学習を通じて身に付けた知識や技能が地域づくりへとつながっていく生涯学習型社会の形成を進めるため、体験・交流型の生涯学習フェスティバルを開催します。

4 公民館分館事業の支援

名寄地区に6分館（中名寄、曙、共和、瑞穂、弥生、日進）を設置し、地域独自の分館事業を支援します。

5 その他の生涯学習事業

- (1) 学習活動の支援
自然体験学習用のキャンプ用品やレクリエーション用具を貸し出します。

6 諸会議・研修会

- (1) 社会教育委員の会会議 年3回開催予定(6月・11月・3月)
(2) 名寄市公民館運営審議会、名寄市民文化センター運営委員会 年2回開催予定(7月・11月・3月)

7 関係団体に対する負担金・補助金

- | | |
|-----------------------------|----------|
| (1) 上川管内社会教育委員連絡協議会負担金 | 30,000円 |
| (2) 北海道社会教育委員連絡協議会負担金 | 54,000円 |
| (3) 社会教育関係団体活動推進補助金 | 800,000円 |
| (4) 名寄市PTA連合会補助金 | 300,000円 |
| (5) 女性団体活動推進補助金 | 115,000円 |
| (6) 名寄東小学校コミュニティセンター運営事業補助金 | 500,000円 |
| (7) 北海道公民館協会上川支部負担金 | 7,000円 |
| (8) 北海道公民館協会負担金 | 52,000円 |
| (9) ジャックの豆事業助成金 | 40,000円 |

◆社会教育施設の機能強化

◇市民文化センターの利用促進

文化センター大ホールを中心とした施設の利用促進とともにソフト面の充実にも努め、市民の学習の成果の発表の場や交流が生まれる環境づくりに努めます。

【施設概要】

1 所在地 名寄市西13条南4丁目2番地 (TEL 01654-2-2218)

2 開設年月日 昭和58年8月11日 (西館：平成27年5月9日開館)

3 主要施設

○東館 (既存棟)

・多目的ホール	353.2 m ²	・大会議室 A	80.0 m ²
・大会議室 B	80.0 m ²	・小会議室	32.0 m ²
・会議室	48.0 m ²	・市民工芸室	97.6 m ²
・生活研修室 A	30.0 m ²	・生活研修室 B	90.0 m ²
・調理実習室	104.0 m ²	・営農研修室	72.0 m ²
・視聴覚研修室	108.0 m ²	・展示ホール	294.8 m ²

○西館 (新築棟)

・大ホール(EN-RAY)	896.15 m ²	固定席 639 車椅子補助者席 8 計 647 席	
・音楽スタジオ 1	39.69 m ²	・音楽スタジオ 2	116.53 m ²
・楽屋 1	52.29 m ²	・楽屋 2	18.99 m ²
・楽屋 3	18.99 m ²	・展示ギャラリー	67.40 m ²
・常設展示室	19.12 m ²		

4 利用案内

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 毎月末日(12月を除く。ただし、その日が土・日曜日又は休日になるときはその前日)
年末年始(12月28日～1月3日)

◆地域連携・協働による社会教育の推進

- (1) 地域の人づくり、つながりづくり及び地域づくりの一端を担うため、町内会や地域の各種団体との連携を工夫し、社会教育活動を推進します。
- (2) 学校を核とした地域づくりを進めるため、地域学校協働活動を推進します。
- (3) 地域学校協働活動や部活動支援など、学校支援に関する人材を登録する「地域学校協働活動等人材バンク」の登録と活用を推進します。

II 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

1 家庭教育学級の開設

- (1) 名寄地区に2学級（幼稚園）を開設し、各学級で自主的に事業を企画、実施します。
交付金 100,000円（50,000円×2学級）
- (2) 家庭教育学級合同研修会を実施します。

2 家庭教育支援講座の開設

子どもの基本的な生活習慣の定着を支援するため、幼児と親を対象とした講座を実施します。

III 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 野外体験学習事業「へっちゃLAND2024」

名寄市子ども会育成連合会事業と連携し、小学4年生から6年生の児童及び中学生を対象に実施します。

- ◇開催予定日 9月7日（土）～9月8日（日）（2日間）
- ◇内 容 キャンプ体験ほか

2 名寄市公民館主催事業

- (1) 夏休み子ども写生会
子ども達の感性や想像力を高めることを目的に、浅江島公園を会場として、幼児から高校生及びその家族を対象に実施します。
- (2) 冬休み子ども料理教室
子ども達の料理への関心を高めること、楽しさを覚えること、また、共同作業を通じて協調性を養い、参加者同士の交流を図ることを目的に、小中学生を対象に実施します。
- (3) 新春こども書き初め広場
子ども達の健全育成に寄与することを目的に、伝統文化である「書道（書き初め）」を実施し、1年の希望や抱負を幼児から高校生及びその家族に表現していただきます。
- (4) 春休み子ども英語クラブ
英語に慣れ親しむことを目的に、小学生低学年を対象に実施します。

3 名寄市子ども会育成連合会との共催事業

- (1) リーダー育成事業「わくわく！体験交流会」
子どもたちが様々な体験を通じて、自主性や社会性を身に付けるとともに、協調性や相手を思いやる心を育てることを目的として実施します。（年7回開催予定）

- ①集団宿泊研修（ネイパル深川）
 - ②キャンプ体験（なよろ健康の森）（予定）※へっちゃらLAND
 - ③カルタ体験等（名寄市民文化センター）
 - ④上川管内子ども会交流（士別市）
 - ⑤スノーランタン作り体験（名寄市民文化センター）
 - ⑥ワカサギ釣り体験（幌加内町朱鞠内湖）
 - ⑦修了式（名寄市民文化センター）
- (2) 名寄市子ども会「フットサル大会」
11月23日（祝・土） 風連B&G海洋センター体育館
- (3) 文化・伝承交流事業「かるた教室」
地域で伝承されている文化や遊びを伝えるため、下の句かるた教室を実施
10月1日（火）～11月26日（火）（全7回）

4 二十歳を祝う会運営事業

実行委員会を組織し、式典等を開催します。

◇開催予定日 令和7年1月12日（日）

◇場所 名寄市民文化センター 大ホール EN-RAY

5 指導者育成事業

- (1) 育成指導者研修会
名寄市子ども会育成連合会との共催で開催します。
- (2) 育成指導者交流会
名寄市子ども会育成連合会との共催で、子ども会育成指導者間の親睦と情報交換を目的に実施します。

6 北海道教育委員会等主催事業

- (1) 青少年体験活動推進事業
北海道教育委員会が主催する青少年活動リーダー養成事業「ジュニアリーダーコース」への参加を支援します。
- (2) 「少年の主張」上川地区大会
全道大会につながる中学生対象の弁論大会に発表者1名を輩出します。

7 青少年育成団体に対する負担金・補助金

- (1) 名寄市子ども会育成連合会補助金 1,000,000円
- (2) 名寄市二十歳を祝う会実行委員会負担金 630,000円

IV 地域文化の継承と創造

◆文化芸術振興事業

1 文化活動への参加機会と芸術鑑賞機会の充実

- (1) 第67回市民文化祭の開催
市民が取り組む各種文化活動について全市的な規模で発表する場及び鑑賞する場を設けることで、文化活動への参加意欲を高めるとともに、地域文化の発展及び伝承に資することを目的に開催します。

- ◇芸能発表 11月2日(土)～3日(日) 市民文化センターEN-RAY ホール
 ◇作品展示 11月2日(土)～3日(日) 市民文化センター東館

(2) 文化芸術鑑賞バスツアーの実施

優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、文化芸術鑑賞バスツアーを実施します。

- ・第1回 6/27～28(木～金) 六花の森、帯広美術館、中札内美術村 定員21名
- ・第2回 8/20～21(火～水) 近代美術館、札幌芸術の森、アルテピアッツァ美唄 定員21名

(3) であいの広場等での作品展示(名寄市公民館主催・共催事業)

各種サークル等と連携し、市民文化センターの展示スペースを活用した作品展示を行い、地域住民の文化芸術活動を支援します。また、各社会教育施設等と連携し、巡回展を実施します。

(4) なよろ舞台芸術劇場の開催

名寄市教育委員会、名寄市公民館及びなよろ舞台芸術劇場が主催又は共催し、各種事業を展開します。

- ① 6月1日(土)・2日(日) ※共催 (SWANK企画)
SWANK企画第14回公演「バージン・ブルース」
- ② 6月15日(土) ザ・クロマニヨンズ ツアー HEY! WONDER 2024
- ③ 6月24日(月) プラハ・チェロ・リパブリック 招待型アウトリーチ
※市内の全中学校を対象に実施
- ④ 6月24日(月) プラハ・チェロ・リパブリック 2024
- ⑤ 8月18日(日) THE JAZZ AVENGERS LIVE 2024 ～8STEPS～
※名寄高校吹奏楽部との共演あり
- ⑥ 9月13日(金) ※共催(名寄市教育委員会、劇団四季等)
劇団四季こころの劇場ファミリーミュージカル「ガンバの大冒険」
※市内小学5～6年生を対象にした招待型アウトリーチ事業
下川小学校の児童40名も参加
- ⑦ 9月16日(月) 名寄で学ぼう! アイヌ文化 映画「カムイのうた」上映会
- ⑧ 11月30日(土) 避難訓練コンサート
- ⑨ 12月1日(月)～14日(土) 「演劇はじめて体験」(仮) ※市民講座と連携
- ⑩ 12月15日(日) 北の星座音楽祭 すごいぞ葵トリオ チェコ音楽を弾く(仮)
- ⑪ 2月11日(日) P I A N O P I A N O P I A N O !
- ⑫ 3月16日(日) EN-RAYホールの裏側(をちょこっと)体験(できる)ツアー
- ⑬ 3月20日(木) 水曜日のカンパネラLIVE(仮)
- ⑭ 3月25日(火) ※共催(マウントアライブ)
スキマスイッチ TOUR2024-2025 ”A museMentally”

2 地域活動の拡充と参加促進

市民盆踊り大会の実施に向け、準備会で開催方法を検討し、実行委員会を組織し開催します。

◇開催日程 8月14日(水)雨天順延 ◇場所 南広場

3 諸会議

- (1) 名寄市民文化センター事業企画委員会 年2回開催予定
- (2) 名寄市文化芸術審議会 随時

4 関係団体に対する負担金・補助金

(1)	名寄市文化協会補助金	360,000 円
(2)	市民文化祭・生涯学習フェスティバル実行委員会補助金	350,000 円
(3)	なよろ舞台芸術劇場実行委員会補助金	10,000,000 円
(4)	名寄太鼓補助金	100,000 円
(5)	名寄市文化芸術振興助成金	2,000,000 円
(6)	市民盆踊り大会実行委員会補助金	200,000 円
(7)	第 61 回道北文化集会補助金	450,000 円

3 名寄市 風連生涯学習担当・

名寄市風連公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆生涯学習活動の推進と学習への支援

1 瑞生大学（高齢者事業）

講話、軽スポーツ、各種研修会、健康教室、農園づくり、クラブ活動等の講座で生涯学習を深めます。

(1) 学生数

大学	1年生	8人	大学	2年生	3人
大学院	1年生	3人	大学院	2年生	4人
研究生		39人			

合 計 57人 (男18人、女39人)

(2) 開設日 毎月7・17・27日を原則として開設

(3) 学習講座（年間30～35講座） 五つの風をテーマに学習

みのりの風・まなびの風・ふれあいの風・やすらぎの風・おもいで風

(4) クラブ活動 書道・フォークダンス・カラダン・ダンス・パソコン

陶芸・パークゴルフ・茶華道等

趣味の会；すこっぷ三味線

(5) 異世代間交流

風連中央小学校児童との交流会

2 風連陶芸センター事業

児童、生徒、一般対象の陶芸教室、サークル活動の支援、瑞生大学陶芸クラブ指導

・市内各小学校の体験教室（随時）

・サークル活動（毎月2回）・一般陶芸教室（毎月2回）

・瑞生大学陶芸クラブ活動（毎月2～3回）・各団体等の体験研修会（随時）

3 風連公民館事業

(1) 会議の開催

・名寄市風連公民館運営審議会（年2回開催予定）

第1回目 6月中旬～下旬 ・ 第2回目 3月中旬予定

・名寄市風連公民館分館長・主事会議（年1～2回開催予定）

第1回目 1月中旬～2月上旬予定

(2) 風連公民館講座

◇DIY講座 令和6年10月27日(日)予定

◇クリスマス手芸講座 令和6年11月17日(日)予定

◇料理教室（手打ちそば） 令和6年12月中旬予定

◇書き初め・墨絵詩書教室 令和7年1月上旬予定

- (3) 花と緑のくらし事業
風連公民館分館施設や各小中学校への花壇造成補助 (分館員活動拠点の美化)
- (4) 風連公民館分館活動の推進
- (5) 社会教育関係団体活動推進補助金 (バス遠征費助成)
- (6) 関係団体に対する補助金
風連瑞生大学自治会 (270,000 円)
風連公民館各分館 (4分館)
旭分館 (102,000 円) ・ 下多寄分館 (114,000 円)
東風連分館 (114,000 円) ・ 西風連分館 (41,000 円)

◆社会教育施設の機能強化

【施設概要】

1 ふうれん地域交流センター<風っ子ホール>

(指定管理者制度導入 3期目 令和5年4月1日～ 5年間)

- (1) 所在地 名寄市風連町本町63番地 (指定管理者TEL 01655-3-2531)
- (2) 開設年月日 平成22年4月12日
- (3) 主要施設 2階; 大ホール 311㎡、控え室 47㎡、中会議室 74㎡
3階; 会議室 64㎡、大会議室 104㎡、調理室 55㎡
4階; 研修室 44㎡、和室 73㎡
- (4) 利用案内
・開館時間 午前9時～午後10時(午後6時以降の利用ない時閉館) 休館日なし
《風連公民館 (TEL 01655-3-2620)》

2 風連陶芸センター

- (1) 所在地 名寄市風連町仲町86番地 (TEL 01655-3-2743)
- (2) 開設年月日 昭和54年9月1日
- (3) 主要施設 建設面積; 184.22㎡
研修室(創作室) 80㎡、機械室(窯場) 50㎡
- (4) 利用案内
・開館時間 午前8時45分～午後5時30分
～午後9時(夜間講座のみ)
・休館日 土・日曜日、国民の休日 ・年末年始(12月29日～1月3日)

II 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

1 親子の絆を深める場の提供

親子で参加できる自然体験教室等の実施

2 企業等へ家庭教育に関する支援

風連地区企業へ「北海道家庭教育サポート企業制度」の周知

III 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 少年の学習体験活動

都会っ子体験交流事業の推進

名寄市と東京都杉並区の異なる生活環境の子ども達が共同生活の交流をとおり、人間性にあふれ意欲に満ちた子ども達の育成を図ります。

小学生（5年生～6年生）杉並区16名、名寄市16名

名寄会場 7月28日～31日（3泊4日）・杉並会場 8月5日～8日（3泊4日）

IV 地域文化の継承と創造

◆文化芸術振興事業

1 郷土芸能活動への支援

風連御料太鼓保存会の後継者育成のための練習場所確保に協力します。

2 風連文化祭

市民が行っている各種文化活動について発表の場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、市民交流の中から文化の創造を促し、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催します。

風連町文化協会を中心とした実行委員会を組織して実施します。

◇芸能発表会 11月3日（文化の日）

◇作品展示等 11月2日～3日

3 関係団体に対する補助金

- | | |
|-------------|------------|
| ・風連文化祭実行委員会 | (200,000円) |
| ・風連町文化協会 | (276,000円) |
| ・風連御料太鼓保存会 | (59,000円) |

4 名寄市智恵文公民館の事業計画

【施設概要】

智恵文公民館（智恵文多目的研修センター）

- 1 所在地 名寄市字智恵文 11 線北 2 番地（TEL 01654-8-2101）
- 2 開設年月日 昭和55年1月1日
- 3 主要施設
 - ・大集会室 264.0 m²
 - ・調理実習室 46.2 m²
 - ・研修室（老人室） 50.7 m²
 - ・和室 43.5 m²
 - ・図書閲覧室
 - ・研修室 43.5 m²
- 4 利用案内
 - ・開館時間 午前9時～午後10時（ただし未利用時は午後8時閉館）
 - ・休館日 毎月末日（ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日）
年末年始（12月29日～1月3日）

【主な事業】

1 公民館講座の開催

教養講座、体験講座など公民館講座の開催

- ・予定している講座 ヤクルト出前講座、智恵文の歴史と自然、

2 高齢者学級運営事業

高齢者学級「友朋学級」の運営

- ・学生数 11 名、年間 20 回の実施
- ・健康に関する講座や奉仕活動、世代間での交流

3 青少年健全育成

夏休み、冬休み期間を中心に公民館主催や智恵文子ども会育成会との共催で青少年健全育成事業を実施

- ・夏休み公民館講座 8月8日
- ・冬季レクリエーション大会 12月上旬
- ・子どもオセロ大会 12月26日
- ・親子書き初め教室 1月7日
- ・冬休み公民館講座 1月9日

4 ちえぶん健康まつり（智恵文地区健康管理推進協議会主催事業）

- ・2月中旬開催、講話と健康相談、趣味の作品展など

5 名寄市児童センター

市民のこころ豊かな人づくりを目的に、名寄市児童センター及び風連児童会館は、児童が放課後等、遊びやスポーツに親しみ、各行事や体験活動を通して健康を増進し、情操を豊かにする自由来館型の安全安心な居場所として設置しています。

児童センターでは、季節の行事をはじめボランティアによる「読み聞かせ」や「一輪車教室」など行事内容の充実を図るとともに、施設機能を生かした遊びの場として利用増進を図っています。風連児童会館では、遊びの充実や健康増進を目指すとともに、風連児童クラブと連携した特色ある企画行事の活動を推進しています。

また、放課後児童対策として、保護者が就労等によって昼間家庭が留守になる環境にある児童の健全育成と子どもたちの安全安心な居場所を確保するため、南児童クラブ・東児童クラブ及び風連児童クラブを設置しています。

1 令和6年度基本目標

設置されている機関相互の特性を生かして、学校及び地域との連携を強化するとともに、青少年の健全育成及び子育て支援を促進し、社会教育施設としての充実と利用しやすい環境の醸成に努めます。

2 令和6年度運営方針

児童センター・児童会館は、幼児（保護者同伴）や児童生徒が遊びやスポーツ、各種行事や体験活動を通して心身の健康を増進し、情操を豊かにするよう努めるとともに、児童や保護者にとって安全安心な居場所を提供します。

児童クラブは、保護者が就労等により、昼間家庭が留守となる環境にある小学児童の健全育成と安全な生活の場所を確保し、保護者の仕事と子育ての両立を支援していきます。

3 令和6年度事業計画

児童センター	風連児童会館	南児童クラブ	東児童クラブ	風連児童クラブ
◎毎月の行事 本の読み聞かせ 工作教室 けん玉教室・検定 ほっとタイム (DVD鑑賞)	◎毎月の行事 お話タイム なわとび検定 キャンディ (DVD鑑賞) お誕生日会	◎毎月の行事 折り紙・工作・読み聞かせ けん玉検定 一輪車チャレンジ お誕生会	◎毎月の行事 読み聞かせ・折り紙教室 下の句かるた けん玉検定 お誕生会	◎児童会館の各種行事 と一緒に連携して行う ◎毎月の行事 お話タイム お誕生日会
◎季節の行事 七夕工作 ハロウィン 児童将棋大会 クリスマス会 卓球教室 まめまき ひなまつり お楽しみ会・表彰式	◎季節の行事 七夕まつり クリスマス会 新年お楽しみ会 冬のお話会 豆まきのつどい おひなまつり会 お茶会 お別れ会	◎季節の行事 母の日プレゼント作り 父の日プレゼント作り 勤労感謝プレゼント作り クリスマス会 冬休み工作 節分行事 バレンタイン行事 ひなまつり会 卒業・進級を祝う会	◎季節の行事 子どもの日お祝い会 母の日プレゼント作り 父の日プレゼント作り 敬老の日プレゼント作り ハロウィン行事 クリスマス会 習字体験教室 節分行事 ひなまつり 茶道体験 卒業進級お祝い会	◎季節の行事 七夕まつり クリスマス会 新年お楽しみ会 冬のお話会 豆まきのつどい おひなまつり会 お茶会 お別れ会

4 施設概要

【児童センター（愛称「ほっと21」）】

- (1) 所在地 名寄市西11条北2丁目12番地54 (TEL・FAX：01654-3-3465)
- (2) 開設年月日 平成23年3月27日
 経緯・旧青少年会館 昭和43年1月5日 ・旧児童センター 平成4年4月20日
 ・旧働く婦人の家 昭和48年1月20日 ・旧女性児童センター 平成16年4月1日
 ・両施設を廊下で結合 昭和52年8月 ※(旧青少年会館 一部解体 平成23年8月10日)
- (3) 主要施設 延床面積 915.24㎡
- | ・1階 | 589.21㎡ | ・2階 | 326.03㎡ |
|------------|---------|------------|---------|
| 児童室(集会室) | 32.2㎡ | 相談室 | 33.6㎡ |
| 図書室 | 46.2㎡ | 適応指導教室 | 33.6㎡ |
| 調理室 | 50.4㎡ | 適応指導教室(和室) | 67.2㎡ |
| ホール | 84.62㎡ | 会議室 | 32.2㎡ |
| 体育室 | 236.52㎡ | 講習室 | 67.2㎡ |
| 事務室 | 50.40㎡ | 2階廊下他 | 92.23㎡ |
| 1階用具庫、トイレ他 | 88.87㎡ | | |
- (4) 利用案内
 ・開館時間 午前9時～午後5時
 ・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- (5) 利用状況

◎一般利用状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数(日)	237	293	293
延べ人数(人)	2,423	2,746	3,198

◎放課後児童利用状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数(日)	237	293	293
延べ人数(人)	2,053	1,806	3,669

【風連児童会館】

- (1) 所在地 名寄市風連町南町84番地1
- (2) 開設年月日 昭和50年12月1日
- (3) 主要施設 延床面積 899.40㎡
- | | | | |
|-------------|--------------|---------|---------|
| ・児童室 | 47.00㎡ | ・プレイルーム | 144.00㎡ |
| ・資料室 | 30.50㎡ | ・事務室 | 30.00㎡ |
| ・1階用具庫・トイレ他 | 269.58㎡ | | |
| ・旧図書館風連分館 | (1階) 155.52㎡ | (2階) | 222.8㎡ |
- (4) 利用案内
 ・開館時間 午前9時～午後5時
 ・休館日 日曜日、国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

(5) 利用状況

◎放課後児童利用状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数(日)	293	293	293
延べ人数(人)	6,845	7,681	6,093

【南児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市西6条南12丁目55番地2(名寄市立名寄南小学校敷地内)

(2) 開設年月日 平成10年4月1日

(改築年月日) 平成28年4月1日

(3) 主要施設 延床面積 307.22㎡
・児童室(プレイルーム) 191.29㎡
・図書室 16.56㎡
・静養室 4.97㎡
・ホール 23.19㎡
・事務室 26.50㎡
・1階用具庫・トイレ他 44.71㎡

(4) 利用案内

・開館時間 平日 下校時～午後6時30分
土曜日・長期休業日 午前8時00分～午後6時30分

・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

(5) 利用状況

◎1年生クラス

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数(日)	293	293	293
延べ人数(人)	5,213	6,891	7,234

◎2年生クラス

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数(日)	293	293	293
延べ人数(人)	5,505	3,491	5,713

◎3・4・5・6年生クラス

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数(日)	293	293	293
延べ人数(人)	4,817	5,316	5,164

【東児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市東5条南3丁目63番地40

(2) 開設年月日 平成28年12月1日

(3) 主要施設 延床面積 115.83㎡
・1階 76.95㎡ ・2階(図書室) 38.88㎡
児童室 54.27㎡
トイレ他 22.68㎡

(4) 利用案内

- ・開館時間 平日 下校時～午後6時30分
土曜日・長期休業日 午前8時00分～午後6時30分
- ・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

(5) 利用状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数(日)	293	293	293
延べ人数(人)	7,011	8,293	7,368

【風連児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市風連町南町85番地2

(2) 開設年月日 平成10年4月1日
(改築年月日) 平成23年1月21日

(3) 主要施設 延床面積 142.80㎡
・児童室 46.0㎡
・遊戯室 46.0㎡
・トイレ他 50.8㎡

(4) 利用案内

- ・開館時間 平日 下校時～午後6時30分
土曜日・長期休業日 午前8時00分～午後6時30分
- ・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

(5) 利用状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数(日)	293	293	293
延べ人数(人)	5,999	6,940	4,979

5 放課後子ども教室

放課後等に、社会教育施設等を活用し、子どもたちの安全、安心な居場所となる活動拠点を設け、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、自ら学ぶ姿勢を高め学習習慣の定着を図っています。

・令和6年度利用者数(実人員)

名寄市児童センター教室(毎週水曜日)・・・小学生 7人

ふうれん地域交流センター教室(毎週木曜日)・・・小学生 10人

6 名寄市青少年センター（名寄市児童センター内）

1 令和6年度活動方針

名寄市内の青少年の健全育成を目指し、日常的に実施している巡視・指導活動を通して子どもの犯罪と非行の未然防止に努めます。各学校・警察署・青少年健全育成諸団体と連携を図り、地域住民の協力を得ながら見守り、声かけを組織的・計画的に推進していきます。

2 令和6年度活動内容

- ① 指導及び巡視（一般巡視、夜間巡視、特別巡視、下校時に合わせた指導巡視）
- ② 広報活動と地域活動の推進（青少年健全育成標語の募集等、各校安心会議の参加）
- ③ 環境浄化運動（有害環境にかかる市内店舗立入調査・監視）
- ④ 青少年健全育成研修会・指導員研修会の開催、他機関の研修会への参加
- ⑤ 青少年表彰（市内在住の青少年で、顕著な功績があった団体、個人を表彰する）

3 令和6年度事業計画

月	活 動 内 容	会 議 ・ 連 携
通年	一般巡視	各小学校安心会議
4月	夜間街路灯・防犯灯巡視	
5月		社会を明るくする運動（旭川地方推進委員会）
6月	第1回名寄市青少年問題協議会 特別巡視（公園点検） 名寄市青少年センター指導員研修会	全道一斉立入調査員会議（札幌市） 青少年育成地域合同会議（旭川市） 名寄警察署少年補導員連絡協議会 社会を明るくする運動（名寄地区実行委員会） 名寄市生徒指導・補導協議会総会
7月	名寄市青少年表彰推薦依頼（高校・大学・企業団体） 北海道青少年健全育成条例に基づく立入調査	社会を明るくする運動 （キャラバン隊・街頭啓発・ふれあい広場・社明パレード） 名寄市安全安心地域づくり推進協議会
8月	特別巡視（祭典：名寄・風連）	社会を明るくする運動（産業まつり） 安心安全円卓会議
9月	名寄市青少年表彰選考専門委員会	薬物乱用防止指導員上川北部地区協議会総会
10月	名寄市青少年表彰式 名寄市青少年健全育成標語募集（市内各小中高校） 名寄市青少年センター合同研修会	名寄市安全安心地域づくり推進協議会
11月	全国青少年健全育成強調月間に運動した活動 名寄市青少年健全育成標語選考委員会 名寄市青少年健全育成標語入選者表彰式	名寄市生徒指導・補導協議会 名寄市安全安心地域づくり推進協議会
12月	名寄市青少年健全育成標語ポスター作成掲示依頼 名寄市児童生徒補導協議会冬休み特別巡視	
1月		名寄地区保護司会名寄支部研修会
2月	第2回名寄市青少年問題協議会	名寄市生徒指導・補導協議会
3月		

7 名寄市教育相談センター（名寄市児童センター内）

名寄市教育相談センターは、教育上の諸問題に対する支援、指導等を行うために設置しています。電話等により児童生徒やその保護者の相談に対応する「ハートダイヤル」の運営や、不登校及びその傾向にある児童生徒に関して支援する「適応指導教室（愛称:みんなの教室）」を開設しています。

また、教育推進アドバイザー1名を配置して学校生活における問題への対応と、教職員並びに関係機関との連携を図っています。

1 適応指導教室

不登校となった児童生徒に対し、適応指導教室への通室などにより、自立支援や学校復帰に向け、学習や多くの体験活動等の支援や指導を行っています。適応指導教室への通室は、学校への出席としてみなされます。

令和5年度入室者数（実人員）

小学生	中学生	合計
0人	1人	1人

令和6年度入室者数（実人員） 令和6年5月末現在

小学生	中学生	合計
0人	0人	0人

2 ハートダイヤル

「ハートダイヤル」は、いじめ・ひきこもり・不登校・落ち込み・イライラなど子供たちや保護者の多様化する悩みに対し、電話相談・面談を通して、その悩む心を和らげ自立する心を育むため開設しています。

【電話・面談等の集計表】

（令和5年度末）

	相 談 者								相 談 区 分															
	保 護 者	小 学 生	中 学 生	高 校 生		一 般			合 計	不 登 校	復 帰 後			い じ め	学 業 ・ 進 路 問 題	親 子 関 係 （ 家 庭 環 境 ）	性 に か か わ る 問 題 （ 含 異 性 関 係 ）	生 活 一 般	学 校 の 対 応	健 康 問 題 ・ 発 達 障 が い	友 人 関 係	育 児 ・ 子 育 て ・ し っ つ け	そ の 他	合 計
				在 学 中	他	学 校 関 係 者	関 連 機 関 職 員 等	そ の 他			学 習 支 援	気 力 回 復 ・ 気 力 転 換	家 族 支 援											
電 話	76	4	1	1	0	20	0	0	102	92	1	0	2	0	1	4	0	0	2	0	1	0	0	103
面 談	55	214	467	141	1	9	3	1	891	408	236	118	1	0	28	4	1	1	2	0	1	4	1	805
合 計	131	218	468	142	1	29	3	1	993	500	237	118	3	0	29	8	1	1	4	0	2	4	1	908

3 教育推進アドバイザー

- (1) いじめ・不登校・非行事項等に係わる情報の共有に関すること
- (2) 必要に応じた教職員等の面談やケース検討会議のコーディネート、学校への定期的訪問に関すること
- (3) 家庭や地域との連携～必要に応じた訪問や相談等に関すること
- (4) 教職員並びに関係機関との連携に関すること

8 名寄市北国博物館

名寄市北国博物館は、北海道の北部に位置し、寒冷・多雪な冬と年間の気温差が60度を超える寒暖差がある名寄市の自然と歴史に学び、その知恵を発展させて今後の暮らしに生かしていく拠点として設置されました。厳しい自然の中で育まれてきた先人の知恵を体験しながら、学び伝承するとともに、マイナスイメージの強かった「北国」のイメージを楽しみや親しむ心を持って、プラス志向で新しい北国文化を創造していくことを運営の指針としています。

1 令和6年度重点目標

○博物館活動を通じた情報発信と地域に開かれた交流施設となる事業の推進

- ①「名寄の歴史、自然」をテーマとした普及事業を実施し、地域の理解をより深める。
- ②自然とのふれあいや体験活動、子ども同士や親子の交流を目的とした青少年事業の実施
- ③文化財や史跡の保全と普及啓発に関する事業の実施。

2 令和6年度事業予定

月	展示会	観察会・普及事業	その他
4	及川幸雄絵画展	・春の探鳥会	・キマロキ編成一般公開
5	なよろ野の花の会「野外植物展」 写真展「北国なよろのいきものたち」	・名寄公園散策(観察クラブ) ・自然探訪会(北邦野草園)	・GW企画「博物館で遊ぼう！」
6	企画展「なよろのトンボ」 ラゾ展「杉並区名寄自然体験報告展」	・天塩川河川敷観察(観察クラブ) ・トンボ観察会	
7	特別展「なよろのむし」	・川釣り体験(観察クラブ) ・昆虫標本作り体験	
8		・野外活動「名寄川水質調査」 ・野外活動「ウチダザリガニバスターズ」	・特別展関連講演会「昆虫の魅力」
9	風花作品展 企画展「アイヌの手仕事」	・黒曜石探し(観察クラブ)	・講演会「名寄のアイヌ給与地」 「アイヌの世界観・口承文芸」 ・馬頭琴コンサート・本よみ聞かせ
10	巡回展「道北の鉄道」	・忠烈布湖底観察(観察クラブ)	
11	企画展「名寄岩生誕110年記念展」	・ビーチコーミング(観察クラブ)	・体験講座「クリスマスリース作り」 ・「名寄岩 涙の敢闘賞」上映会
12	特別展「名寄とスキー」	・ものづくり体験(観察クラブ)	・杉並区児童名寄自然体験交流 ・体験講座「お正月飾り作り」
1		・森のたんけん隊 2025 冬 ・体験教室「まが玉作り」 ・草木染体験講座	・特別展関連講演会「名寄のスキー文化と歴史探訪」
2	企画展「キツツキ展」	・スノーシューウォーキング	・雪あかりコンサート2025
3	令和6年度新着資料展	・雪とあそぼう！	

※開催期間・内容等は変更になる場合があります。

3 常設展示内容（面積：570㎡）

<テーマ>

北海道の北部に位置し、多雪・寒冷そして明瞭な四季の変化のある「名寄」で繰り広げられてきた自然と歴史について学び、未来へその知恵を継承発展させる。

- 北国名寄・・・・・・どうして多雪・寒冷なのか
- 北の先史・・・・・・氷河期後の人間の暮らし
- カムイの森・・・・・・冬の森を通してみたアイヌの自然観と文化
- さむさ・ひと・くらし・・・生活資料からたどる雪・寒さとの関わりあいの歴史
- 映像コーナー・・・・・・3面マルチスクリーンによる上映
 - 「北交響」～北国名寄の四季の移ろい
 - 「北国・名寄の歴史」～開拓期から現代まで
 - 名寄市の花・鳥・木や指定文化財を紹介する情報検索など
- 郷土コーナー・・・・・・国指定天然記念物「鈴石」「高師小僧」
 - アイヌの伝承者「北風磯吉」
 - 名寄が生んだ名力士「名寄岩」
 - アイヌ文化の景勝地 名勝「九度山」

4 北国博物館施設概要

- (1) 所在地 名寄市字緑丘222番地（TEL兼FAX 3-2575）
- (2) 開館年月日 平成8年2月10日
- (3) 主要施設
 - 延床面積 2,099㎡（1階 1,655㎡・2階 444㎡）

1 階		2 階	
エントランスホール	114㎡	地域情報室	72㎡
ギャラリーホール	154㎡	講堂	107㎡
第1収蔵庫	60㎡	書庫	42㎡
第2収蔵庫	177㎡	研究室	130㎡
常設展示室	570㎡		

5 利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・年末年始
- 観覧料

常設展	区分		観覧料	特別展	区分		観覧料
	個人	一般・学生	220円		個人	一般・学生	その都度市長 が定める額
高齢者		110円	高齢者				
団体	一般・学生	152円	団体	一般・学生			

- 備考
- 1 高校生以下は無料とする。
 - 2 障がい者を有する者（身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳のいずれかを有する者）及び介助者は、無料とする。
 - 3 高齢者とは、65歳以上の者をいう。
 - 4 団体は1団体10人以上とする。

6 施設利用状況

年度	個人				団体			行事、他	利用者
	高校生以下	一般・学生	高齢者	免除	団体	見学	視察	行事等	総計
令和元	544	1,588	512	388	113	992	54	6,212	10,403
令和2	379	1,206	239	190	78	466	2	3,961	6,521
令和3	598	1,377	241	258	0	469	14	4,453	7,410
令和4	742	2,344	472	252	115	772	43	5,679	10,419
令和5	793	2,221	656	259	33	965	49	7,352	12,328

7 資料受入状況

年度	寄贈		採集		収集(購入)		計
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	(点数)
令和元	22	165	0	0	0	0	165
令和2	22	228	0	0	0	0	228
令和3	20	165	0	0	0	0	165
令和4	33	1,382	0	0	0	0	1,382
令和5	32	452	0	0	0	0	452

8 資料保有数

区分	地学	生物	考古	民族	生活	産業	文献記録	合計
令和元年度末保有数	5,614	2,805	84,383	534	12,241	13,138	7,669	126,384
令和2年度末保有数	5,617	2,805	84,386	534	12,366	13,183	7,721	126,612
令和3年度末保有数	5,617	2,805	84,389	535	12,405	13,187	7,839	126,777
令和4年度末保有数	5,621	2,807	84,411	535	12,473	13,184	9,128	128,159
令和5年度末保有数	5,666	2,810	84,444	538	12,746	13,238	9,169	128,611

9 文化財一覧

(1) 国指定文化財

名称	所在地	指定面積	指定年月日	説明
天然記念物 名寄鈴石	緑丘109-4	40a	昭和14年 9月7日	核となる粘土などに鉄分が殻のように巻き付いてできた褐鉄鉱の一種。拳ほどの大きさで、振ると音がするので「鈴石」と呼ばれる。
天然記念物 名寄高師小僧	瑞穂	23a	昭和14年 9月7日	湿地に生育する植物の根などに鉄分が巻き付いてできた沼鉄鉱の一種。管状の形が多い。愛知県豊橋市高師ヶ原に多産。
名勝 九度山 (外ヶ原)	日進・ 智恵文	522a	平成21年 7月23日	アイヌの人たちに祈りの山として伝承され、現在も市民に親しまれるアイヌ文化の景勝地。

(2) 市指定文化財

指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第1号	風連獅子舞	無形文化財	瑞生下多寄神社	平成18年3月27日
説明	下多寄地区は明治36年頃より富山県からの移住者が多い。その関係で富山県東砺波郡井波町から獅子舞一式を持ち帰り、明治41年8月に神社創建新築落成を記念して奉納された。現在も「風連獅子舞保存会」により郷土芸能として受け継がれている。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第2号	グイマツ	天然記念物	東風連3395番地	平成18年3月27日
説明	大正2年頃、東風連の神野熊十郎が敷地内に植樹していたもので、大正9年水田への転換を記念して十数本を東風連小学校に寄贈した。うち1本が昭和8年の校舎改築記念樹として北玄関前に移植され大きく生育している。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第3号	名寄教会会堂	有形文化財	大通南2丁目	平成18年3月27日
説明	明治42年に建てられた現存する市内最古の洋風建築物である。会堂の建築は、北一名寄木工場を経営していた小北・西田家をはじめとするキリスト教信徒の寄付が支えとなった。建物正面の直線的な切妻破風と上部が丸い縦長窓が、洋風の印象を与えている。内部の長椅子は材を丸ごと利用している。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第4号	ミズナラ林	記念物	名寄公園	平成18年3月27日
説明	名寄公園を中心としたミズナラ林は、周辺を含め約10haにわたり1200本あまりが生育する。平均直径は約50cmで、樹齢は100年～150年と推定され、ほぼ純林的な林相をなしている。			

名寄市風連歴史民俗資料館

1 常設展示内容

<テーマ>

北限の農業 ～未開の大地と寒冷地農業への挑戦～
天塩とフーレバツの流れのなかで

1 階

- エントランス・ロビーには樹齢400年以上のイタヤカエデの巨木（高さ16m太さ3m重さ6トン）が展示してあります。
- 一階展示室には風連の自然と人・古代の生活・未開の大地と寒冷地農業への挑戦・ふえる人口と町の発展・学校と子どもたち・便利になった毎日・今風連はと7つのテーマがあり、各テーマにあった展示がされております。その他に風連獅子舞などの展示コーナーがあります。

2 階

- 収蔵展示室には昔のくらしを家の内・外観など昔の色々なものを展示しています。

2 入館者数

区分	開設日	小学生	中学生	高校生	一般	合計
令和元年度	3	25	0	0	11	36人
令和2年度	4	0	0	0	14	14人
令和3年度	5	19	0	0	9	28人
令和4年度	7	17	0	0	8	25人
令和5年度	7	18	0	0	25	43人

3 風連歴史民俗資料館概要

(1) 所在地 名寄市風連町南町85 番地 2

(2) 開館年月日 平成 2 年 4 月 1 日

(3) 主要施設

延床面積 645.76 m² (1 階 258.635 m² 2 階 387.125 m²)

1 階

エントランス・ロビー 59.163 m²

常設展示室 176.750 m²

収蔵庫 55.980 m²

2 階

特別展示室 102.750 m²

収蔵展示室 78.006 m²

(4) 資料保有数 12,435 点

4 利用案内

個人利用：定期開館日での見学

令和 6 年度定期開館日 6 月 16 日、7 月 27 日、8 月 15 日、9 月 21 日

開館時間：午前 10 時～午後 4 時

観覧料：無料

その他に、市内学校、高齢者大学、風連地区ゆかりの団体による予約制見学が可能。

9 市立名寄図書館

1 令和6年度運営方針

市民の読書活動と学びを支援する身近な教育施設として、利用者ニーズに即した資料収集および機能の充実に努め、きめ細やかな読書サービスを提供するとともに、子どもの読書活動を推進します。

2 令和6年度事業計画

(1) 図書館奉仕業務

事業区分	事業内容
蔵書の充実	蔵書の更新整備、資料の収集と迅速な提供、利用者のニーズに対応した図書の整備、児童図書の充実によるサービスの向上を図る。
移動図書館	自動車文庫「やまゆり号」の巡回により市内全域へのサービスを提供する。 ・巡回サービス：名寄地区9か所（月2回、4月～12月の間巡回） 風連地区2か所（月1回、毎月巡回） ・遠隔地小中学校・保育所・幼稚園：名寄地区15か所 ・配本所：名寄地区5か所、風連地区3か所 ※遠隔地小中学校の巡回時に読み聞かせを実施
障がい者支援	障がい者等が図書を利用するためのサービスの提供を図る。 ・録音図書：ボランティア団体「名寄声の図書会」との連携 ・録音データ「サピエ」による提供 ・図書宅配サービスの実施
情報の収集・提供	レファレンスサービス・相互貸借の充実を図る。 ・北海道立図書館や市町村立図書館と連携し、利用者へ広範な資料提供 ・インターネットや国立国会図書館、北海道立図書館のネットワーク活用 ・図書館ホームページやX、市広報、図書館だより、FM放送等による情報の提供 （発信情報内容：利用案内・蔵書検索・新着図書・雑誌案内・行事案内等）

(2) 読書普及活動

① 子どもの読書普及

第4次子どもの読書活動推進計画に基づき、図書館ボランティアや幼児施設・学校等と連携し、読書普及活動や啓発活動を実施、読書環境を整備する。

- ・名寄本館での行事開催
 幼児や児童、保護者を対象とした行事の定期開催（金ようおはなしクラブ、ペンギンクラブ）
 読書週間、夏休み、冬休みの行事や一日司書体験、土曜ビブリオトークの開催
- ・風連分室での行事開催
 幼児、児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしポケット、おはなしタイム）
 季節毎の行事や一日司書体験等の開催
- ・読み聞かせ連絡会議の開催
- ・学校専用図書の貸出
- ・名寄市内学校図書館・市立名寄図書館担当者会議の開催

② 一般向け読書普及

図書館ボランティア等との連携を図り、市民から好評を得ている行事の開催や図書館の利用促進、読書普及を図るための事業を企画実施する。

- ・ミニ展示（季節や話題をテーマとした本の展示） 随時開催
- ・文学講座 9～10月に全5回で開催
- ・雑誌リサイクル 11月3日（文化の日）
- ・ビブリオバトル 11月17日

3 分類別蔵書冊数

(令和6年3月31日現在)

区分	総記	哲学	歴史	社会学	自然科学	技術	産業	芸術
名寄本館	4,332	3,227	7,959	17,723	6,468	8,023	3,626	9,155
風連分室	487	543	1,268	2,506	776	1,675	469	1,126
合計	4,819	3,770	9,227	20,229	7,244	9,698	4,095	10,281

区分	言語	文学	参考	大活字	児童	紙芝居	大型絵本	合計
名寄本館	1,269	40,493	5,692	620	39,628	1,134	117	149,466
風連分室	139	11,119	992	127	9,963	810	41	32,041
合計	1,408	51,612	6,684	747	49,591	1,944	158	181,507

4 施設概要

【本館】

- (1) 所在地 名寄市大通南2丁目 (TEL 2-4751 FAX 2-4897)
 (2) 開設年月日 昭和45年8月1日
 (3) 各室案内
 延床面積 1,683㎡ (1階:591㎡ 2階:648㎡ 3階:379㎡ 4階:65㎡)

1階	2階	3階	4階
閲覧室	会議室	読書室	資料収納庫
新聞庫	北海道・名寄コーナー	休憩室	
児童室	保存用閉架書庫	国際親善メモリアルホール	

【風連分室】

- (1) 所在地 名寄市風連町西町201 風連中央小学校内 (TEL 01655-7-8000)
 (2) 開設年月日 平成31年1月16日

5 利用案内

- (1) 本館 ①開館日 火曜日・金曜日・土曜日・日曜日 9時30分～17時00分
 水曜日・木曜日 9時30分～19時00分
 ②特別開館日 11月3日(文化の日)
 ③休館日 月曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日
- (2) 風連分室 ①開館日 月曜日～金曜日 9時30分～17時00分
 土曜日 9時30分～13時00分
 ②休館日 日曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日

10 なよろ市立天文台

1 令和6年度運営方針

令和6年度名寄市社会教育推進計画や第2次名寄市総合計画に則り、事業展開を図ります。

2 令和6年度事業計画

(1) 天文普及事業

- ・通常の観望会（昼間の星も含め、随時実施）
- ・特別観望会（14回開催予定、その他新天体が出現時等に随時実施）
- ・日常からの星空配信（YouTubeによる配信）
- ・天文教室（天文講座の開催、その他小中学校・一般団体の開催依頼は別途受付）
- ・移動式天文台車ポラリス2号による出前観望会の実施
- ・「なよろ市立天文台ホームページ」による情報提供 (<https://navoro-star.jp>)
- ・X (@kitasubaru)、facebook及びメルマガ、市役所LINEによる情報提供
- ・市内ボランティアによるインターネットTV「きたすばるどっとこむ」放送

(2) プラネタリウム

- ・毎晩の星空解説
- ・プログラム番組の投影
- ・授業内容に合わせた学習・団体投影（学校・幼稚園・各団体）
- ・熟睡（春眠）プラ寝たリウム（5月・11月）、東日本大震災特別番組（3月）、学習投影の市民向け投影（12月）、などの企画投影

(3) 調査・研究

- ・観測情報の収集（天体撮影・ビデオ収録）
- ・研究観測（太陽黒点・超新星の搜索・小惑星による恒星食等）
- ・北海道大学大学院と連携した研究・観測

名寄市と北海道大学大学院理学研究科で、平成17年度に相互協力協定を締結
平成23年に160cm光学赤外望遠鏡（北大設置）一般公開

(4) その他企画

- ・小学生による小惑星発見プロジェクト ・天文台カード発行
- ・石垣島天文台とのスタンプラリー ・わくわく惑星ラリー
- ・きたすばる星と音楽の集いなど星と音楽の融合をテーマにしたイベントの開催

3 なよろ市立天文台施設概要

(1) 所在地 名寄市字日進 157 番地 1 (Tel 2-3956 FAX 2-0267)

e-mail kitasubaru@navoro-star.jp URL <https://www.nayoro-star.jp>

(2) 開設年月日 平成22年4月17日

(3) 主要施設 建物延床面積 1036.75 m² 建築面積 775.66 m²

施設内容 プラネタリウム、屋上観測室、観測室、レクチャールーム、
企画展示コーナー、事務室、応接会議室、更衣休憩室

機器 160cm光学赤外望遠鏡（愛称ピリカ：北大設置）
50cmカセグレン望遠鏡（愛称：きたてらす）

40 cmカセグレン望遠鏡2台（愛称：美ら、^{ちゆ}美麗）
40cm カセグレン望遠鏡搭載移動式天文台車

4 利用案内

- (1) 開館時間：火曜日～日曜日、祝日 13時～21時30分（4月～10月）
13時～20時00分（11月～3月）
- (2) 休館日：月曜日・祝日の翌日（日曜日及び土曜日を除く）・最終火曜日・年末年始
- (3) 観覧料：高校生以下、障がい者とその介助者は無料
大人 410円 大学生 310円 65歳以上 200円
団体料金(10名以上) 大人 310円 大学生 210円
年間パスポート 大人 1,250円 大学生 1,040円 65歳以上 620円
- (4) 施設利用料：
レクチャールーム Aタイプ（約100人収容） 1時間 419円
Bタイプ（約50人収容） 1時間 210円
プラネタリウム占有利用（常設席50席） 30分 210円

5 協定

- (1) 北海道大学 大学院理学研究院
(2) 国立天文台 石垣島天文台
(3) 台湾 台北市天文科学教育館

6 利用実績推移

(人)

	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
有料	一般	1,494	1,779	2,437
	大学生	53	105	102
	65歳以上	174	203	310
	団体	30	118	144
	パスポート	54	47	71
無料	障害者	93	115	201
	高校生以下	2,130	2,313	2,858
	パスポート	183	192	208
	その他	1,040	1,199	1,985
観覧者合計 (A)		5,251	6,071	8,316
施設外利用 (B)		164	657	2,597
利用者合計 (A+B)		5,415	6,728	10,913

新型コロナウイルスの関係で、令和3年度5月18日～6月20日、8月31日～9月30日は臨時休館

1 1 学校体育施設開放事業利用状況

【名寄地区】

学 校 名	利用日数 (日)			利用者数 (人)			利用平均 (人/1日)	
	5年度	4年度	前年比	5年度	4年度	前年比	5年度	4年度
名 寄 小 学 校	290	277	105%	8,205	7,812	105%	28.3	28.2
名 寄 南 小 学 校	287	293	98%	9,527	10,375	92%	33.2	35.4
名 寄 東 小 学 校	298	270	110%	7,041	8,099	87%	23.6	30.0
名 寄 西 小 学 校	261	281	93%	7,323	7,995	92%	28.1	28.5
智 恵 文 小 学 校	-	-	-	-	-	-	-	-
名 寄 中 学 校	235	212	111%	2,807	2,174	129%	11.9	10.3
名 寄 東 中 学 校	207	250	83%	3,662	4,257	86%	17.7	17.0
智 恵 文 中 学 校	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	1,578	1,583	100%	38,565	40,712	95%	24.4	25.7

【風連地区】

学 校 名	利用日数			利用人数			平均利用人数	
	5年度	4年度	前年比	5年度	4年度	前年比	5年度	4年度
風 連 中 央 小 学 校	241	227	106%	3,218	2,956	109%	13.4	13.0
東 風 連 小 学 校	157	150	105%	1,665	1,630	102%	10.6	10.9
風 連 日 進 小 学 校	20	40	50%	365	719	51%	18.3	18.0
合 計	418	417	100%	5,248	5,305	99%	12.6	12.7